

国際交流会議

複数国からの参加者がある国際会議は、直接の意見交換により、参加者間に国際的な共通認識が形成されると同時に、国際友好親善・総理解の促進も期待できる極めて効果的な事業である。基金では、国内外で行なわれる国際会議・セミナー・シンポジウムに対し、複数の助成プログラムによりこれに対応している。

1. 地域草の根交流国際会議助成

このプログラムは、地域・草の根レベルの国際相互理解や国際友好親善の促進を目的とする会議を支援するものである。

<2003年度事業例>

- 「チャータースクールフォーラム vol.3 ミネソタ・ニューカン トリー・スクール(MNCS)とプロジェクト学習」(特定非営利 活動法人二十一世紀教育研究所)

アメリカで注目されている「チャータースクール」の概念と、アメリカの教育改革について学び、MNCSで取り組まれている「プロジェクト学習」のMNCSの生徒による実践と体験を行ない、日米双方における教育環境のあり方を考えた。

- 「世界の若者による対話：RING」(世界の若者による対話 RING実行委員会)

パネルディスカッション、分科会を通じて、若者が世界の諸問題、日本国内にある身近な国際問題に対する理解を深めた。

- 「ワン・ワールド・フェスティバル」(ワン・ワールド・フェス ティバル実行委員会)

市民に広く国際交流・協力の大切さを認識してもらい、活動に参加してもらう機会を提供するため、関西地域を中心に国際交流・協力活動に携わるNGO、国際機関、自治体、企業などが協力してフェスティバルを開催した。

2. 日欧国際会議助成

<2003年度事業例>

- 「日仏都市会議2003」(日仏工業技術会)

都市の歴史的遺産をいかに継承し、その基盤の上にいかに新たな文化を創造するかについて、日仏のオピニオンリーダーが討議を行なった。

- 「日本ルーマニア世界遺産会議2003『モルドヴァの修道院文化の再生をめざして』」(ルーマニアにおける修道院文化の保存修復に関する国際会議実行委員会)

ルーマニアに所在する中世建築遺跡保存をテーマに、日・ルーマニア共同によるシンポジウムを実施した。

- 「日伊経済・政策比較」(ポッコーニ商科大学)

1990年代における日・伊両国の経済政策に関し、両国の共通課題である政府債務削減、構造改革、硬直化した労働市場などについて、日伊両国の研究者による討議を行なった。



ワン・ワールド・フェスティバル